

# 日本放送協会 理事会議事録

(平成30年12月 4日開催分)

平成30年12月21日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年12月 4日(火) 午前9時00分～9時25分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、  
児野専務理事・技師長、松原理事、黄木理事、菅理事、  
鈴木理事、松坂理事、今井特別主幹

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 第1319回経営委員会付議事項について
- (2) 2019年度(平成31年度)国内放送番組編集の基本計画について
- (3) 2019年度(平成31年度)国際放送番組編集の基本計画について

## 2 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

## 議事経過

### 1 審議事項

#### (1) 第1319回経営委員会付議事項について

##### (経営企画局)

12月11日に開催される第1319回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、審議事項として、「平成31年度予算編成方針」、「2019年度（平成31年度）国内放送番組編集の基本計画について」、および「2019年度（平成31年度）国際放送番組編集の基本計画について」です。報告事項として、「NHKメディアテクノロジーとNHKアイテックの合併について」、「『平成29年度業務報告書』に付する総務大臣の意見について」、および「2018年秋季交渉の結果について」です。また、その他事項として「総務省『放送を巡る諸課題に関する検討会』について」と「最高裁大法廷判決を受けたNHK受信料制度等検討委員会での意見交換会の報告について」です。

(会長)           ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

#### (2) 2019年度（平成31年度）国内放送番組編集の基本計画について

##### (編成局)

2019年度（平成31年度）国内放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

まず、編集の基本方針についてです。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に、NHKは、最高水準の放送・サービスの実現をめざすことを「NHK経営計画（2018－2020年度）」（以下、「経営計画」）のビジョンとして掲げ、取り組みを進めています。

2018年には、BS4KとBS8Kの本放送を開始しました。超高精細の映像と迫力ある音響は、これまでにない臨場感と深い感動をテレビの前に届けます。日々の暮らしに必要な情報を、より深く、より身近

に、知ることができるように、インターネットを活用したサービスの充実にも努めてきました。放送と通信の融合時代においても、視聴者のみなさまの信頼をいただけるように、挑戦と改革を進めます。放送法で定められた公共放送の基本姿勢を堅持し、自主自律と不偏不党を貫いて、正確な情報を公平・公正に伝え、多彩で質の高い番組を追求していきます。

全国各地で頻発する未曾有の豪雨や猛暑、いつどこで起きるともしれない大地震、暮らしを直撃する国際社会の変容など、私たちを取り巻く状況は、日々めまぐるしく変化しています。一方、少子高齢化など中長期にわたる社会の変質は、解決が困難なさまざまな重い課題をもたらしています。地球環境や気候変動にも配慮した、働きがいがあり、経済成長も遂げられる持続可能な世界をどう創るのか。そして、多様な人々が心豊かに暮らすための身近な社会をどう実現するのか。ひとつひとつの課題について、視聴者のみなさまとともに、じっくりと考えていきます。

NHKが追求する6つの公共的価値、①「正確、公平・公正な情報で貢献」、②「安全で安心な暮らしに貢献」、③「質の高い文化の創造」、④「地域社会への貢献」、⑤「日本と国際社会の理解促進」、⑥「教育と福祉への貢献」を、多くの人にしっかりと届けるために、放送を太い幹としつつ、インターネットによるサービスも活用して、新たな時代の“公共メディア”をめざします。

次に、編集の重点事項は、「1. 命と暮らしを守る報道に全力を挙げ、安全で安心な暮らしに貢献」、「2. 世界の動向や暮らしに直結する課題を、早く、深く、わかりやすく」、「3. 幅広い世代の期待と多彩な関心に応える番組・コンテンツを開発・充実」、「4. 東京オリンピック・パラリンピックの機会を生かし、その先の時代に貢献するための挑戦を」、「5. BS4K・8K 世界最高水準の視聴体験と新たな可能性を追求」、「6. 多様な価値を認め支えあう社会をめざした放送・サービスを充実」、「7. 全国の放送局と本部がしっかりと連携して、地域社会に貢献」、および「8. 日本と世界の相互理解を促進する発信を、国内に向けても強化」の8項目です。

以上の重点項目の実施にあたっては、次のような施策を勘案しながら取材・制作体制を構築します。まず、これまでの質的、量的評価の手法に加えて、個々の放送・サービスの「役割」や「到達度」などの視点を

取り入れた、公共放送ならではの評価指標を開発し、より適切な評価・管理体制を構築することで、視聴者の期待に応えます。放送倫理やコンプライアンス意識を徹底し、これまで培ってきた取材力・制作力を生かし、事実に基づく確かな情報と質の高い番組の提供に努めます。また、NHKの業務に携わるすべての人の健康確保に留意し、「働き方改革」、女性の活躍などのダイバーシティー施策の推進、職場環境の整備に取り組み、適切なアウトソーシング、AIの導入、テレワークの拡大など、業務フローの抜本的な見直しを実施します。さらに、放送の実施にあたっては、番組のマルチユースや、4K・8Kと2Kの一体制作を進めるなど、限られた経営資源を効果的・効率的に活用します。

本件が了承されれば、12月11日開催の第1319回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月17日開催の第654回中央放送番組審議会に諮問します。

(会長)           ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

(3) 2019年度（平成31年度）国内放送番組編集の基本計画について

(国際放送局)

2019年度（平成31年度）国際放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

編集の基本方針についてです。

東京オリンピック・パラリンピックを1年後に控えた2019年は、天皇陛下の退位・即位や大阪でのG20サミットの開催など、日本に対する世界の関心はこれまで以上に高まります。また、訪日外国人や外国人材の増加も引き続き見込まれ、日本社会の多様化はますます進んでいきます。こうした中で24時間のテレビ英語放送の開始から10年を迎えるNHKの国際放送は、視聴者・聴取者のターゲットを明確にしながら、日本ならではの視点を生かした公共メディアとして、公平・公正で信頼できる情報を届けます。また、テレビやラジオに加えてスマートフォンやパソコンなどさまざまな端末に向けて発信し、日本とアジアを中心に、世界の“いま”を伝えます。合わせて、多言語化の一層の推進な

ど、幅広い人々に向けたサービスを充実させていきます。

そして、外国人向け国際放送「NHKワールド JAPAN」では、今年度、ニュース・番組の両面でテレビとインターネットの連携を一層加速させます。スマートフォンでの視聴やビデオ・オン・デマンド（VOD）の利用を意識してニュースを刷新・強化します。災害などの緊急報道では、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）も活用して訪日・在留外国人に向けた安全・安心情報の発信を充実させます。また、英語以外の初めてのライブ発信サービスとして、2019年1月に開始する「中国語ネットチャンネル」を本格的に展開します。

さらにホームページを大幅に刷新してライブ・VOD・多言語展開を一層推進します。「NHKワールド JAPAN」の外国人向けラジオ国際放送では、ニュースをはじめ防災・減災情報、日本での滞在に役立つ生活情報、日本語学習などを、全世界に向けて17の言語で発信します。ラジオ第2放送でもベトナム語・インドネシア語のニュースを新設し、国内にいる外国人へのサービスを強化します。

在外邦人向け国際放送では、テレビ放送「NHKワールド・プレミアム」とラジオ放送の「NHKワールド・ラジオ日本」を通じて、2020年を前にした日本の“いま”の姿を多様な角度から伝えます。ニュースの発信をさらに強化し、災害時には、正確・迅速な情報の提供に努め、海外で暮らす日本人や旅行者の安全・安心を守る“日本語の情報源”としての役割を果たします。

本件が了承されれば、12月11日開催の第1319回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月18日開催の第653回国際放送番組審議会に諮問します。

（会 長）           ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

## 2 報告事項

### （1） 考査報告

（考査室）

2018年10月29日から11月27日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース15項目、番組53本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、日産自動車のカルロス・ゴーン会長が有価証券報告書に自らの報酬を5年間で実際より50億円余り少なく記載していたとして、東京地検特捜部に逮捕されたこと、アメリカの中間選挙で与党の共和党が議会上院の過半数を維持する一方、民主党が下院の多数派を奪還したことで、今後のトランプ大統領の動向が注目されること、安倍首相とロシアのプーチン大統領の首脳会談が行われ、歯舞群島と色丹島を引き渡すとした1956年の日ソ共同宣言を基礎に平和条約交渉を加速させることで合意したこと、「徴用工」として日本で強制的に働かされたと主張する韓国人4人が日本企業を訴えた裁判で、韓国の最高裁が賠償を命じる判決を言い渡したことなどです。

番組では、源流から河口まで17kmにわたり透き通った水が流れる三重県南部の銚子川を、四季を通じて4Kカメラで撮影したNHKスペシャル「見えないものが見える川 奇跡の清流 銚子川」（総合・11月11日放送）、ネットを通じた弁護士への大量の懲戒請求の実態と背景に迫った、クローズアップ現代+（プラス）「なぜ起きた？ 弁護士への大量懲戒請求」（総合・10月29日放送）、NHKの「発達障害キャンペーン」の一つとして、発達障害のある著名人が自らの経験を告白した「発達障害って何だろうスペシャル」（総合・11月24日放送）、水俣病を写真集で世界に訴えた米国の写真家ユージン・スミスの没後40年にあたり、その素顔に迫ったE TV特集「写真は小さな声である～ユージン・スミスの水俣～」(Eテレ・11月10日放送)などを考査しました。

地域番組では、プラスチックモデル産業の中心である静岡県を舞台に、模型メーカー女性社員の成長を描いた、「静岡スペシャル『静岡発地域ドラマ プラスティック・スマイル』」（総合・静岡県域・11月16日放送）、伝統技術に最新技術も取り入れて進められる、熊本城の天守閣と石垣の復旧工事に迫った「密着！熊本城復旧プロジェクト」（総合・九州・沖縄ブロック・10月19日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールド JAPAN」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。

「徴用工」として働かされたとする韓国人が訴えた裁判で韓国の最高

裁が日本企業に賠償を命じ、日本政府は解決済みの問題として強く反発していることを伝えた「NEWSLINE」（日本時間10月30日放送）、地域の食材や手づくりの料理などを日本各地の台所での物語として描く「Through the Kitchen Window」（日本時間10月24日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

## （２）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の2018年10月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年12月18日

会 長 上 田 良 一